

基本史料の注釈書について

TA 高橋 邦幸

■概要

日本古代史を研究する場合、基本史料として六国史や律令格式などがあります。現在では以下のような注釈書が出版されていますので、参考にしてください。本文の他に、読み下し・現代語訳・注釈・解説・索引などが載っています。

■代表的な注釈書（著者名・校訂者名等は省略します。）

○『古事記』（新編日本古典文学全集、小学館、1997）

3号館7階国文学研究室にあります。

○『日本書紀』1～3（新編日本古典文学全集、小学館、1994～1998）

国文学研究室にあります。日本古典文学大系（旧版・新装版）にも入っています。

○『風土記』（新編日本古典文学全集、小学館、1997）

国文学研究室にあります。

○『続日本紀』1～5（新日本古典文学大系、岩波書店、1989～1998）

日本史学研究室・国文学研究室にあります。日本史学研究室の場合、入って左側の書棚です。別巻として索引・年表もあります。これには現代語訳がついていないので、東洋文庫や講談社の現代語訳で出ているものもあわせて見るといいでしょう。東洋文庫はジャンナレッジにも入っていて、検索も出来ます。

○『日本後紀』（訳注日本史料、集英社、2003）

日本史学研究室の書庫にあります。逸文も載っています。講談社から現代語訳も出版されました。なお、『続日本後紀』の現代語訳も去年講談社から出ています。

○『律令』（日本思想大系、岩波書店、1976）

日本史学研究室にあります。入って左側の書棚です。

○『延喜式』上・中（訳注日本史料、集英社、2000～2007）

日本史学研究室の書庫にあります。

○『本朝文粹』（新日本古典文学大系、岩波書店、1992）

国文学研究室にあります。

○『大鏡』（新編日本古典文学全集、小学館、1996）

国文学研究室にあります。

※上記の本は中央書庫にもあります。

※日本古典文学全集・日本古典文学大系は、新版・旧版ともに国文学研究室で全巻開架されています。他の巻も活用してください。日本古典文学全集は現代語訳つきです。

■国史大系について

日本史を研究するとき、最も基本的な史料集として**国史大系**があります。これは史料を活字化しただけで、読み下しも注釈もありませんが、一番重要な史料集です。日本史学研究室の入って左側の書棚にあります。六国史・律令格式だけでなく、多数の基本史料が収められていますので、自力で読めることを目指してください。